

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第4回豊島区みどりの基本計画策定委員会	
事務局（担当課）		公園緑地課	
開催日時		令和4年9月13日（火）17時30分～19時30分	
開催場所		豊島区役所8F 807・808会議室	
議題		<p>1 報告事項</p> <p>(1) 第3回策定委員会のおさらい（資料1）</p> <p>(2) 前回のご意見を反映した修正箇所</p> <p>・豊島区の最近の動向</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 豊島区みどりの基本計画の素案（パブリックコメント用資料）について（資料2）</p> <p>3 その他</p> <p>・連絡事項、次回について</p>	
公開の 可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由	
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	
		非公開・一部非公開の場合は、その理由	
出席者	委員	<p>学識経験者 東京農業大学 教授 入江 彰昭</p> <p>学識経験者 千葉大学 准教授 竹内 智子</p> <p>関係団体 豊島区観光協会 会長 近江 正典</p> <p>関係団体 豊島みどりの会 紫垣 敬子</p> <p>関係団体（企業）西武造園株式会社 沖 三奈絵</p> <p>区民委員 波多江 美由紀</p> <p>区民委員 前野 益子</p> <p>区民委員 久崎 諒也</p> <p>区職員 環境清掃部長 橋爪 力</p> <p>（敬称略）</p>	
	その他		
	事務局	<p>豊島区 都市整備部 公園緑地課 片山 裕貴 横田 雅彦 菅井 章</p> <p>株式会社 総合設計研究所 石井 ちはる 池本 加奈子</p>	

審 議 経 過

No. 1

会議の結果

●主な意見のまとめ (⇒：発言者に対する意見・事務局の回答)

報告事項（第3回策定委員会のおさらい、前回のご意見を反映した資料の修正）を事務局から提示し、意見交換を行った。

■計画書のレイアウトについて

・レイアウトは二段組より現行計画の一段組が見やすいと思う。文字が小さい。この委員会で見直し提案したことについて太文字にするなど表現を変えてはどうか。（前野委員）

⇒段組については一段と二段の試作を作成し、事務局で選定した。写真を多用しており、紙面を無駄なくするため二段組を採用した。文字の大きさについてはできるだけ大きくするよう検討したい。見直した箇所はこの計画全般になる。（事務局）

⇒黄色いマーカーは最終的に外すのか。（前野委員）

⇒黄色マーカーは前回（第3回委員会）からの変更箇所であり、最終的には外す。（事務局）

・1段組と2段組の混在に違和感がある。（前野委員）

⇒2段組のほうが文字が沢山入るのでは。（近江委員）

⇒ページ数が大きく変わってくる。1行の文字数が多くなると追っていくのが難しくなることもある。（事務局）

⇒私は2段に分かれている方が読みやすい。（紫垣委員）

⇒この字の大きさで横一列にすると読みづらいと思う。（近江委員）

・P45など、1段組と2段組が混在するところは順番を入れ替えてまとめると良い。（沖委員）

⇒確かに、説明が先にくるのではなく、結論である取組が先の方がわかりやすい。（近江委員）

⇒再度、全体で調子を整えたい。（事務局）

・写真が多いのは良いが、並べると印象に残りづらいのでメインを大きくするとレイアウトを考えていただけると区民に伝わりやすいと思う。地域別方針の位置図は最初のページにある方が分かりやすい。テーマごとに四角で囲うのも見やすい。（前野委員）

・写真の余白が一定していない。説明が下にあったり横にあったりする。（前野委員）

⇒修正できる場所は見やすく改善してもらいたい。（入江会長）

■本編の構成・概要版について

・この計画書は誰に読んでもらうものなのか。区民でよいか。（近江委員）

⇒行政計画であり、区民に見ていただけるようHPにもアップする予定。今後、区のみどりや公園のあり方について、この計画に基づいて計画を進めていく一つの指針になるため、職員にとってはマニュアル的な使い方になると共に、区民にご理解頂くためのツールとなる。（事務局）

・区民に読んでもらうためにはもう少し簡潔にするべき。役人言葉が出てくる。例えばP14基本理念の冒頭など。「大きくは」は不要。文章を減らしてはどうか。

⇒皆様のご意見を取り入れていく中で、前回の計画より取組内容が増えている。（事務局）

・見出しだけで分かるようにしてはどうか。「五感にうったえる」の箇所など、イラストや写真は、ひと目見て分かることが大事。区民に発表するものと役所のマニュアルは分けたほうが良い。（近江委員）

審 議 経 過

No. 2

会議の結果

- ⇒概要版を作成する予定。P5計画の位置付けにある通り、みどりの基本計画は都市緑地法に基づいた法定計画であり、堅苦しいところもあるが、単に行政情報をお知らせするパンフレットの的なものではない。(事務局)
- ⇒これから作成予定の概要版では分かりやすく簡潔でイラストを多用したものとしたい。(事務局)
- ⇒全体が見られる概要版は必要。概要版を見て興味を持った人が本編を見てもらうと理解してもらいやすい。(竹内副会長)
- ⇒概要版を委員の皆さまにお送りしてチェックしていただいた方がよい。出来上がったタイミングでご意見をいただきたい。(事務局)
- ・地域別方針は左右の本文と図を入れ替えて、先頁にサブタイトルと図、後に本文にした方が見やすいのでは。(近江委員)
- ⇒検討します。(事務局)
- ・写真に一言添えた説明が多くあり、良いと思う。表紙のデザインは作成中だが裏表紙はどうか。(久崎委員)
- ⇒イラストが表紙のみか、または裏まで及ぶかなど、今後検討したい。(事務局)
- ・先ほどご意見のあった、枠で囲う場合、一頁の文字数が減ってしまい、益々ページが増えるので、枠なしがあっても良い。見出しのデザインを統一した方がよい。(久崎委員)
 - ・研究で国交省や自治体のHPにアクセスして資料を見ることがあるが、まず概要版を見て、そのなかで興味のある箇所があればより詳細な資料を見るという使い方をしているので、報告書はこれでよいと思う。また、概要版はパワーポイントのようなスライド形式にするのも一つの案かと思う。(久崎委員)
 - ・P19から見ていると、①②の次に(1)(2)があり、その次に-1、-2となるが、番号ごとのカテゴリを作る時に、基準があるのであれば整理してほしい。(入江会長)
- ⇒章ごとに緑のグラデーションによる色分けを統一して、目次だてと合わせるようにしている。数字の付け方については再度整理する。(事務局)
- ⇒章ごとの色分けは分かりやすいと思う。(入江会長)
- ・誌面は緑のグラデーションが使われてて、お洒落な印象。文字の大きさは高齢者に配慮して大きい方がよい。概要版の作成をお願いしたい。英語版、優しい日本語版、子どもでも分かるような仮名を振ったものなどがあるとインクルーシブかと思う。(竹内副会長)
 - ・成果物について、本編と、日本語で簡単に書いた通常の概要版と、優しい日本語に翻訳した概要版があると良い。(久崎委員)
- ⇒概要版を二種類作成するのは難しいが、できるだけ分かりやすく見やすいものになるよう心がける。(事務局)

■副題について

- ・今回のみどりの基本計画改定が目玉は何かを強調するため、表紙に副題をいれてはどうか。「公園からはじまるまちづくり」重点施策の「パークグリーンインフラ」など。区のウォークアブルというビジョンがあり、「歩きたくなる 歩きやすい 豊かなみどりを身近に感じて歩いてみようよ」など、みどりの基本計画でそれを受けて打ち出していくことがある。世の中の動向でグリーンインフラ、SDGsなどもある。前回H28改定版とは違う新たな改定があると思う。(入江会長)
- ⇒検討します。(事務局)

会議の結果

■コラム「街路樹の役割」について

- ・P43の街路樹の樹種を決めるポイントについて、管理のしやすさに特化されている。生物環境については本文にあるので良いが、植栽基盤の整備についてあまり書かれておらず、記載したい。（沖委員）
⇒前回委員会の追加意見で頂いた、地表面の重要性にもつながるため、イラスト内に追記したい。（事務局）
- ・イラスト内の根の表現が小さいと思う。
⇒修正します。（事務局）

■ネットワーク図について

- ・P34 にみどり軸の議論、P33～P35 区全体の軸とのつながりを示しているが、東西と南北の軸は結局道路の軸である。しかし、例えば P99、100 の図を見ると、神田川は軸に現れていない。P100の土質、浸水するような場所には高低差があり、この軸の図の中に地形・水系がわかるように色を薄く入れて、全体の自然の成り立ちが分かる表現を入れてほしい。P35 の南北軸の色が青だと川かと誤解する。実際は東西の川に囲まれた地形であり、色を変えた方が良い。これからは道路を強調しすぎず、ベースのランドデザインを強調してほしい。P33 の他の自治体を含めた図は、地形を際立たせた方が浸水で脆弱な場所はどこかなど区民に伝わると思う。（竹内副会長）
- ・P34、35みどりの骨格軸について、上空から見ると緑が点々とあるという意見があったが、道路ではなく、ソメイヨシノからどこかへつながるような表現もあると思う。新宿区はエリアで位置付けていると思う。（前野委員）
⇒みどりの南北軸は、新宿区の「風のみち」を受けて連続させている。（事務局）
⇒明治通りには街路樹がないと思うが。（前野委員）
⇒池袋駅前の道路は本来の明治通りではなく、現在整備中の環状5の1号線が明治通りとなる。合わせて今後街路樹を整備していく予定。（事務局）
⇒現況として染井霊園や雑司ヶ谷霊園という大きなみどりの塊があることが豊島区の特徴であると思うので、これだけ軸を強調するのは区のイメージと異なる。（前野委員）
⇒みどりの骨格軸を中心にして、みどりの拠点、面的なみどりがこの軸につながってきている。それを生物多様性とか風の方向がつかないでいくという概念になっている。みどりの拠点が二つの骨格軸の交点にあるという構図がより見えてくる。（事務局）
⇒将来ネットワーク図なのでこれでも良いのかもしれないが、現状で見るとこんな太いイメージの街路樹はない。学習院や霊園などのみどりの塊の方が遥かに大きく濃い。こう書いてしまうと、こういうラインがあってその周辺に拠点のみどりがあるのかと見える。実際は豊島区のみどりは島状に点在している。その現状からその点在するみどりをつないでいかなければいけないということがこの図から湧いてこない。（近江委員）
⇒軸をグラデーションにしているのは、ウォークアブルな街の観点がある。街路樹がない箇所もあるが、その背後にある街の中の公園や寺社など、地域を巡る道とみどりがつながっていき、軸の縦断だけでなく、横断的に軸にくっついていることでみどりが浸透していくということを表現している。（事務局）
⇒背骨から小骨へというような、みどりを通じて住宅地など色々なところへつながっていくイメージ。（事務局）
⇒軸が目につくので、工夫したほうが良いと思う。（前野委員）
⇒もう少し霊園等のみどりを強調した方が良いか。（事務局）

会議の結果

■公園まちづくり

・P10「身近なみどりを広げふれあう機会を増やす」で区民調査での意識は6年前に比べるととても良くなっている。この10年で豊島区のモチベーション、公園都市としての知名度はとても上がっていると思うが、この表現だと埋もれてしまう。この10年で拠点となる公園が次々とオープンし、みどりのイメージが浸透していることを強調した方が良い。全体計画のSDGsだけでなく、公園を拠点としたまちづくりをやっている都市として、今後益々力を入れていくことを強調した方が良い。

「パークグリーンインフラ」は今回新しく出てきた用語で、PRすると良いと思うが、P32、P57とバラバラに出てきて、内容が分かりづらいため、参照ページを入れると良い。P57のような様々な取組を、地域の多様な主体と一緒にやっていく、そのメニューが様々であることが分かりづらい。

最後に、P119の遊休地を活用した「農縁公園プロジェクト」はこれからの取組としてとてもよいと思う。これは「みどりの縁むすび」の一環とするとう良い。(竹内副会長)

⇒今、協定花壇やコミュニティガーデンの取組を進めており、そのような公園を整備していくためのワークショップも始めている。農縁公園とみどりの縁結びを関連づけてPRしていきたい。(事務局)

⇒農縁公園は民間が一生懸命やっている取組第1号としてHPにも載っており、資料編だけでなくコラムの中などにも反映してほしい。(竹内副会長)

■専門用語等の表現について

・ウォーカブルという言葉など、ひっかかる言葉があると読み進まない。日本語で言えるものは日本語が良い。全体的にカタカナが多い。読みやすくというのは基本だと思う。こども新聞のように、タイトル→結論→理由という構成が良い。(波多江委員)

・パークPFIなど専門的な用語についても、本文中にコラムや用語の説明の参照ページを示した方が良い。(入江会長)

⇒関連箇所、用語の解説が必要な箇所は【P〇〇参照】とすると共に、もう一度本文を見直し、平滑な言葉に変えられる箇所は変えていきたい。(事務局)

■ウォーカブルについて

・ウォーカブルというのはまちづくりの考え方で、みどりの基本計画からは少しずれる。まちなかを歩こうというだけのことだが、ただ、歩きやすかったり、歩くことに気が向くということ。区では、区役所とハレザの間の道を結んで、その人流がサンシャインを含め出来上がってきており、次は駅の東西を地下で結ぶ構想がある。(近江委員)

⇒池袋駅周辺だけでなく、今回のみどりの基本計画で言いたいところは、みどりを体感しながら、歩いて楽しくなるまちを目指していくことを豊島区中で広げていきたいという思いを込めて、ウォーカブルという言葉になっている。区の施設が老朽化しており、区施設の建替えの際は周辺に必ずみどりを入れる、街角のポイントにはシンボルになる木を植えることを進めている。みどりを街中に増やし、多くの小さな公園と公共のみどりがつながることにより、歩いて楽しめるまちを目指してウォーカブルという言葉を使っている。(事務局)

会議の結果

■インクルーシブについて

- ・インクルーシブという言葉もわかりづらい。（紫垣委員）
⇒インクルーシブについては豊島区で比較的早い段階で公園にも取り入れて整備してきた取組でもあるが、聞きなれない言葉であり、解説は丁寧に行い、コラムを参照しやすいようにしたい。ウォーカブルなまちづくり方針については、都市計画課で今年度中を目処にとりまとめを行っており、整合を図りたい。また、研究によると東京は他の都市と比較して歩く距離が長く、健康寿命が長いと言われている。小さな公園が多く点在することを逆手にとって、みどりを増やしつなげて歩いて楽しい街、長く住み続けていける街を目指し、ウォーカブルの観点をみどりの基本計画に入れていきたい。（事務局）

■公園のリニューアルについて

- ・P57「整備」「再整備」という言葉が計画ではなく工事を表すように見える。（沖委員）
⇒個人的にはそれほど違和感を感じないが。（入江会長）
⇒公園のリニューアルを区はある時期までやっていなかったところがあり、パークグリーンインフラの中で、皆さんのご意見を聞きながら区が公園づくりをしていくという意志表示と考えていただきたい。（事務局）

■写真・イラストについて

- ・P57 写真は上り屋敷公園ではなく西巢鴨二丁目公園。（前野委員）
⇒修正します。（事務局）
- ・P43 グリーン大通りの写真は低木の混植部が良い。P46「生きものとふれあう～」は生きものの写真があると良い。（沖委員）
- ・P29 写真の窓際の緑化イメージが分かりづらい。P48 みどりのカーテンのイラストはママも緑化に参加してほしい。（前野委員）
- ・写真が俯瞰ばかりでイメージ図でしかない。人の顔も入れた、寄った写真がほしい。（波多野委員）
⇒P51 近景の写真のようなものが良いのでは。（沖委員）
⇒検討します。（事務局）
- ・P29 は豊島区内の写真か。場所は。（入江会長）
⇒全編を通して数枚は違う写真があるが、ほとんどは区内の写真を撮って入れている。これは個人のお宅になる。（事務局）
⇒〇〇地域など、地域のみ示せると良い。（入江会長）

■ブロック塀について

- ・住宅地の道路際のブロック塀を外してもらえると庭のみどりも見えるのだが、良い方法はないか。危険でもある。（前野委員）
⇒生垣助成を行っている。ブロック塀を廃止して生垣にしていただければ助成金がある。皆さんでやっていただくと緑がつながると思う。官民共同でみどりを増やしていきたい。（事務局）

■目標値について

- ・P20 目標について、目標値のポイントをもう少し一つ二つ大きくした方が目標に向かって頑張るといった雰囲気が出ると思う。（橋爪委員）

審 議 経 過

No.6

会議の結果	■次回の予定 ・次回第5回策定委員会を1月下旬に予定で、日程については連絡する。 その前にみどりの基本計画をパブリックコメントとして公開し、区民の目線で見えていただき、いただいた意見を反映しながら最後の取りまとめを行う。パブコメ公開前に修正した計画書を委員へ送付する。（事務局） 以上
提出された資料等	資料1 第3回策定委員会でのご意見を踏まえた主な検討事項 資料2 第4回策定委員会資料 豊島区みどりの基本計画の素案（パブリックコメント用資料）
その他	